

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	震災・火災・停電等災害時への対応方法について、職員一人一人が実行できるかという不安が残る。備蓄品についても不安あり。	年2回以上の訓練の中で、全職員が不安に思う事を解消し、自信を持って避難誘導や地域の方からも応援をしてもらえるようにしたい。	日中はもちろん、職員数が少ない夜間を想定した訓練の実施。また、地域住民の方にも参加してもらっての訓練の実施。備蓄品として、食料や必要物品の準備。	12ヶ月
2	33	重度化が進んできているため、利用者様一人一人に合った個別対応が難しくなっている。	重度化が進んで来る中、終末期の対応等も含めて全職員が理解をして、ご本人やご家族様の意向を十分に汲む事が出来る対応をしたい。	ご家族様やご本人からの意向を十分に聞き、ホームとして出来る事を明確に伝える等十分な話し合いを持つ。職員に、積極的に重度化や終末期に向けた外部研修を受けてもらう。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。